【青表紙本】❷かく—かく|かく池 ❹は、—は横 ❺みえわたるを—みえわたる肖 ❺かれ—か(あ)れ池—あれ陽肖 ❻のたまふに—のたまふ肖 ❻みいたし給へるも—み給へるも三 ❻いと—ナシ陽 ❻めつらしけれは—めつらしけれ|と(は)池 ❸おり〳〵の—おり〳〵横池 ❸ありしはやと—ありしやは陽 ❸あはれに—あはれ|と朱(に朱)大 ❿この世ならても—このよならては(も)榊 ❿はちすはに—はちすは|の(に)池 ⓭さへやは—さへや榊陽 ⓮はつかしう—はつかしく榊三—ナシ陽

【河内本】❹いとすゝしけにて—いとゝすゝしけにて大 ❽身つからも—みつから七 ❿玉ゐる—たちゐる—所も阿 ⓫給と—給よし阿 ⓬めにちかき—めちかき御心地保—めちかき阿 ⓬なかりつるに—なくて阿 ⓭さへやは—さへや阿 ⓮おほすに—ナシ阿

【別本】❶たとしへなく—ひろ〳〵として保—たとしへなくきら〳〵として阿 ❶さへみゆ—みゆる阿 ❷心ことに—いと心ことに阿 ❸給ても—給て阿 ❹はちすの花のさきわたれる—はすの花のさきみたれたる阿 ❺つゆきら〳〵とたまのやうに—露のいときら〳〵と阿 ❺かれ—あれ保 ❺ひとりも—ひとりしも阿 ❼夢の—いと夢の阿 ❼いみしく—ナシ保 ❽ありしはや—ありしそや阿 ❽おほして—おほえ給て別 ❾きえとまる—きゝとまる阿 ❾許をと—はかりをなと保—はかりはなと阿 ❾の給—の給て阿 ❿内にも—うちなとにも阿 ❿所—所も阿 ⓫給と—給よし阿 ⓬めにちかき—めちかき御心地保—めちかき阿 ⓬なかりつるに—なくて阿 ⓭さへやは—さへや阿 ⓮おほすに—ナシ阿

としころすみ給はてすこしあれたりつる院の内たとしへなくせはけにさへみゆ
きのふけふかくものおほえたまふひまにて心ことにつくろはれたるやり水せん
さいのうちつけに心ちよけなるをみいたし給てもあはれにいまゝてへにけるを
おもほす池はいとすゝしけにてはちすの花のさきわたれるにはゝいとあをやか
にてつゆきら〳〵とたまのやうにみえわたるをかれみたまへをのれひとりもす
ゝしけなるかなとのたまふにおきあかりてみいたし給へるもいとめつらしけれ
はかくてみたてまつることそ夢の心ちすれいみしくわか身さへかきりとおほゆる
おり〳〵のありしはやと涙をうけてのたまへは身つからもあはれにおほして

きえとまるほとやはふへきたまさかにはちすのつゆのかゝる許をとの給
契をかむこの世ならてもはちすはに玉ゐるつゆのこゝろへたつないてたま
ふかたさまはものうけれと内にも院にもきこしめさむ所ありなやみ給ときゝて
もほとへぬるをめにちかきに心をまとはしつる程みたてまつるまつる事もおさ〳〵な
かりつるにかゝるくもまにさへやはたえこもらむとおほしたちてわたり給ひぬ
宮は御心のおにゝみえたてまつらむもはつかしうつゝましくおほすに物なとき

こえたまふ御いらへもきこえ給はねはひころのつもりをさすかにさりけなくて
つらしとおほしけると心くるしけれはとかくこしらへきこえ給をとなひたる人
めして御心ちのさまなとゝひ給れいのさまならぬ御心ちになむとわつらひ給御
ありさまをきこゆあやしくほとへてめつらしき御ことにもと許のたまひて御心
の内にはとしころへぬる人ゝたにもさることとなきを不定なる御ことにもやとお
ほせはことにともかくものたまひあへしらひ給はてたゝうちなやみ給へるさま
のいとらうたけなるをあはれとみたてまつり給からうしてたちてわたり
たまひしかはふともえかへり給はて二三日おはするほといかにと〳〵とうしろめ
たくおほさるれは御ふみをののみかきつくし給いつのまにつもるおほむことのは
にかあらむいてやゝすからぬ世をもみるかなとわかきみの御あやまちをしらぬ
人はいふ侍從そかゝるにつけてもむねうちさはきけるかの人もかくわたりたま
へりときくにおほけなく心あやまりしていみしきことゝもをかきつゝけてをこ
せたまへりたいにあからさまにわたり給へる程に人まなりけれはしのひてみせ
たてまつるむつかしき物みするこそいと心うけれ心ちのいとゝあしきにとてふ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

【青青紙本】❶さりけなくて—さりけなくて池 ❷とかく—ふかく三 ❸めして—めしいて、横榊肖三—めしいて、池 ❸なむと—なと榊 ❺人ゝたにも—人にたにも横—人ゝにたにも池 ❺さること—さること肖 ❺御ことにもやと—御ことにもやと池 ❻給はて—給はす三 ❽ほと—ほとは榊 ❾おほむことのは—御事のは横榊池陽肖三 ❿いてや—いて三 ❿御あやまち—あやまち横池 ⓫わたりたまへり—わたり給へる陽肖 ⓬心あやまり—心あやまり池—心あやまち肖 ⓭程に—ナシ陽 ⓮いと—と榊

【河内本】❷おほしけると—おほしけるを七 ❸めして—めしいて、河 ❸なむと—なと七 ❺さること—さるなき事もなきを七 ❼いと—ナシ七 ❸えかへり給はて—かへり給はて國 ❸ほと—程に七 ❸うしろめたく—うしろめたなく鳳 ❾おほむことのは—御ことは宮尾鳳 ❿いてや—いて河 ⓬かきつゝけて—かきつけて大 ⓬をこせたまへり—おこせたり御宮尾平大鳳國—をこせり七 ⓮心うけれ—心うけれ大河

【別本】❶さすかに—なやみになと阿 ❸わつらひ—わつらはせ保—おこなひ阿 ❸御ありさま—御さま阿 ❺たにも—も阿 ❺不定なる—いかなるかくものたまひ—ともひ—ともかくも保—ナシ阿 ❻あへしらひ給はて—あひしらはてけなるを—らうたけにおほえて阿 ❻ともかくも保—ナシ阿 ❻うも—ナシ阿 ❼らうたけに—らうたけいと哀に阿 ❼あはれと—ふとも:おはするほと—とみにもえちかへり給はて阿 ❽おほすれは—おほしめさるれは阿 ❾おほむことのはにか—御ことのはわか阿 ❿いてや—いて阿 ⓫人は—人ゝは阿 ⓫侍從—こしゝう阿 ⓬心あやまり—心あやまち阿 ⓬かきつゝけて—かきつけて阿 ⓭たまへり—給へる阿 ⓭給へる程に—給へりけるほとなれは阿 ⓭人まなりけれは—ひまなりけれは保—ナシ阿 ⓭みせすて阿 ⓮いと—ナシ保 ⓮心うけれ—心うけれとて阿

【青表紙本】❶とて—ナシ池 ❷み木ちやう—御木丁 三 ❸えよくも—よくも榊三 ❸さしはさみ給つ—さしはさませ給つ横池—さしはさみつ榊 ❸ようさり つかた—よさりつかた榊三—ようさり（ゆふ）つかた 池 ❹きこえ—きこえ池 ❺いまさらに—いまさら榊 —いまはさらに肯 ❻ひか〳〵しく—ひか〳〵しう榊 ❻ゆめ—ゆめ〳〵横 ❼たはふれこと—たはふれこと 肯 ❼なとも—なに（と）も榊 ❽うちとけ—うちとけ榊—うちとけて三 ❾御けしきと—御けしきと横— 御けしきに榊 ❾ひるのおましに—ひるのおましのに 大 ❿いりにけるに—いりけるに榊—いりにけり陽 ⓬なと—ナシ榊 ⓭にくからすかし—いとにくからす かし榊 ⓭そのままにもとや—そのままにもとや陽—そのままにもとや。

【河内本】❶いとおしけに—いとをしう大 ❹御いとま—いとま河 ❼なまいはけなき—なまいけたる河 ⓬月まちてとも—月まちてとも大 ⓭物を—物を國 ⓭たちとまり給—たちとまり大

【別本】❶たまへれは—給へるを阿 ❶たゝこの—ナシ阿 ❶おしけに…2さりぬいとゝ—ナシ阿 ❸院いり給へはえよくも—ようもえ阿 ❹あらすみえ給を—みえ給はす阿 ❺なりしをみすてたる—なりしさまをみすて給たる阿 ❺おもはるゝも—思はるゝを阿 ❺おもはるゝも—いとおしう阿 ❻ありとも—あるとも阿 ❻をき給な—をいておほすな阿 ❼たまひてむと—給てんなと阿 ❼かたらひ—かたらひ聞阿 ❼たはふれこと—御たはふれこと阿 ❽うちとけきこえ…たてまつり—うちませ聞え阿 ❾御けしき—ナシ別 ❾と心え…うちふし給て—ナシ阿 ❿おほとのこもりいりにけるにひくらしの—御とのこもりたりける程に日くらしこゑ阿 ⓬月まちてとも—月まちてとも阿 ⓭のたまふは—の給か阿 ⓭そのままにもとや—そのままにもとや保—そのままにもとや阿 ⓮給—給ぬ阿



したまへれはなをたゝこのはしかきのいとおしけに侍そやとてひろけたれは人
のまいるにいとくるしくてみ木ちやうひきよせてさりぬいとゝむねつふるゝに
院いり給へはえよくもかくし給はて御しとねのしたにさしはさみ給つようさり
つかた二条院へわたり給はむとて御いとまきこえたまふこゝにはけしうはあら
すみえ給をまたいとたゝよはしけなりしをみすてたるやうにおもはるゝもいま
さらにいとおしくてなむひか〳〵しくきこえなす人ありともゆめ心をき給ない
まみなおしたまひてむとかたらひ給れいはなまいはけなきたはふれことなとも
うちとけきこえたまふをいたくしめりてさやかにもみあはせたてまつり給はぬ
をたゝ世のうらめしき御けしきと心えたまふひるのおましにうちふし給て御物
かたりなときこえ給ほとにくれにけりすこしおほとのこもりいりにけるにひく
らしのはなやかになくにおとろき給てさらはみちたと〳〵しからぬ程にとて御
そなとたてまつりなをす月まちてともいふなる物をといとわかやかなるさまし
てのたまふはにくからすかしそのまにもとやおほすと心くるしけにおほしてた
ちとまり給

夕露に袖ぬらせとやひくらしのなくをきく〳〵おきて行らむかたなりなる
御心にまかせていひいて給へるもらうたけれはつゝめてあなくるしやとうちな
けきたまふ

まつ里もいかゝきくらんかた〳〵に心さはかすひくらしのこゑなとおほし
やすらひてなをなさけなからむも心くるしけれはとまり給ひぬ しかのこと
かになかめられ給いて御くた物はかりまいりなとしておほとのこもりぬまたあ
さすゝみのほとにわたり給はむとてとくおき給ふへのかはほりをおとしてこ
れは風ぬるくこそありけれとて御あふきをき給てきのふうたゝねし給へりしお
ましのあたりをたちとまりてみ給に御しとねのすこしまよひたるつまよりあさ
みとりのうすやうなるふみのおしまきたるはしみゆるをなに心もなくひきいて
ゝ御覧するにおとこの手なりかみのかなといとえむにことさらめきたるかきさ
まなりふたかさねにこま〳〵とかきたるをみ給にまきるへき方なくその人の手
なりけりとみ給つ御かゝみなとあけてまいらする人はみ給ふみにこそはと心も
しらぬにこしゝうみつけてきのふのふみの色とみるにいといみしくむねつふ



【青表紙本】❷いひいて—いひいて大 ❻まいり—さすかにまいり榊 ❻あさすゝみ—あさすみ陽 ❼ほとに—補入榊 ❼とく—ナシ榊 ❼よへ—よつ（へ）池 ❼かはほりを—かはほりを横 ❽風ぬるくこそ—風ぬるさこそ陽 ❽きのふ—昨日の横池 ❾たちとまりて—たちとまり給て榊 ❾あさみとりの—あさみとりの池 ❿はし—ふみ（はし）池 ❿みゆるを—みゆるも陽 ⓫なと—なんと池 ⓫かきさま—かきさま榊 ⓭給つ—みたまひつ（ヌ）横 ⓭御かゝみ—おほんかゝみ横池三 ⓭み給—ナヲみ給横—なをみ給榊陽肯三 ⓭心も—心陽

【河内本】❶かたなりなる—かきりなき七 ❷つゝめて—ついて國 ❹おほしやすらひて—おほしわつらひて河 ❻まいり—ナシ國 ❽きのふ—きのふの大 ❽御あふき—御あふきを國 ❽まよひたる—まとひたる大 ❾まよひたる—まとひたる國 ❿みゆるを—みゆ河 ⓭御かゝみ—かゝみ御河 ⓭み給—なをみ給河

【別本】❶おきて—いてゝ阿 ❷らうたければ—らうたけれは別 ❷ねて—ねて阿 ❸たまふ—給て阿 ❸また—ナシ阿 ❹里—かた阿 ❻また—ナシ阿 ❼よへの—よへる大 ❽きのふ—ナシ阿 ❽し給へりしおましのあたり—し給ひしをまし阿 ❾とまりて—とまり給て阿 ❿みゆるを—みゆるも阿 ❿ひきいて—ひきひろけてみ給へはおしまきたる—をしまかれたる阿 ⓫えむに—えんにしみて阿 ⓬こま〳〵と—うすみにこま〳〵と阿 ⓬方—事阿 ⓭み給つ—み給阿 ⓭まいらする—奉る阿 ⓭み給—なをみ給保—なをみ給へき阿 ⓮心—御心阿 ⓮こしゝう—小侍從つほねへをるゝとて阿 ⓮いみしく—いみしくて保—いみしうも有かなきのふのかみの色なるからに阿

【青表紙本】❶なと—なと横 ❶方にめも—方めに（めトにト反轉ノ符號アリ）も榊 ❶あらし—あらしと三 ❷かくいたまひて—かくい（シ）て給て横—かくい（し）給て池—かくしたまひて陽肖 ❷なに心もなく—なに心なく榊 ❸かゝる物を—かゝるもの榊 ❹むけに—ナシ三 ❻よりて—よりきて三 ❼侍つれとも—侍つれとも大 ❾いつくにか—いつくにか横池三—いつこにかは陽肖 ❾さふらはしと—さふらはしとテ横—さふらはしとて池 ❿侍しを—はへしを榊 ⓫給つらむとなむ—給へらんとなん横 ⓬おきあからて—をきあえて榊肖三 ⓭きこえむ—きゝえん榊 ⓮いつくのかは—いつこのかは陽—いつこのかは肖 ⓮いたく—いたう榊 ⓮けしきにても—けしきにて榊 ⓮あらはと—あらは横池

【河内本】❶それには—これには河 ❶あらし—あらしと國 ❷かくいたまひてけむと—かくい給けんも國 ❷思ひなす—思ひなのこもり國 ❸おほとのこもり—御とのこもり國 ❸おほし御—おほしておほし御 ❸いふかひなの—いふかひなき御宮 ❸いつくにか大—いつくにかは—いつくにかおきあからて—えをきあへす河 ❸いつくのかは—いつくにかは御七—いつくにか宮鳳 ❹給事あらはと—給事はと七 ❹きこえ給し—きこえし七

【別本】❶御かゆ—いと心ちあしけにて御かゆ阿方—かた〳〵阿 ❶いてさりとも—いて給ふさても阿 ❶あらしいと—あらしといゝ阿 ❷たまひてけむ—給てん阿 ❸おほとのこもり—御とのこもりたり阿 ❹おほす—おほすも心おとりしてされはよいと—ナシ阿 ❹されはよ—されはよと保 ❺みる—みるそ保 ❻しゝう—こしゝう阿 ❻よりて—よりきて別 ❻せさせ給てし—なり侍にけん阿 ❼ふみ—御文阿 ❼おほして涙の—おほす涙になき阿 ❾いつくにかは—いつくにか阿 ❾給てし—給にし阿 ❿いみ—心み阿 ❿心のおにゝ—ナシ保 ⓫侍にしを—侍に阿 ⓫なむ思給へし…12えおきあからて—おもひ給へにしかはえをきあへて阿 ⓭いときこえむかたなし—開えんかたなし阿 ⓭よりてみれは…14事あらは—か御君もいみしうをちはゝかり給けしきにてもしもりきこしめす事もあらんは阿 ⓭みれはいつくのかは—みれといつくにかは保 ⓭いみし—いみしや保



〳〵となる心ちす御かゆなとまいる方にめもみやらすいてさりともそれにはあらしいといみしくさることはありなんやかくいたまひてけむと思ひなす宮はなに心もなくまたおほとのこもれりあないはけなかゝる物をちらし給ひてわれならぬ人もみつけたらましかはとおほすも心おとりしてされはよいとむけに心にくき所なき御ありさまをうしろめたしとはみるかしとおほすいてたまひぬれは人〳〵すこしあかれぬるにしゝうよりて昨日のものはいかゝせさせ給てしけさ院の御らむしつるふみの色こそにて侍つれときこゆれはあさましとおほして涙のたゝいてきにいてくれはいとおしき物からいふかひなの御さまやとみたてまつるいつくにかはをかせ給てし人〳〵のまいりしにことありかほにちかくさふらはしとさはかりのいみをたに心のおにゝさり侍しをいらせ給しほとはすこしほとへ侍にしをかくさせ給つらむとなむ思給へしときこゆれはいさとよみしほとにいり給しかはふともえおきあからてさしはさみしをわすれにけりとのたまふにいとときこえむかたなしよりてみれはいつくのかはあらむあないみしかの君もいといたくおちはゝかりてけしきにてももりきかせ給事あらはとかしこまりきこえ給しものをほとたにへすかゝることのいてまうてくるよすへていはけなき御ありさまにて人にもみえさせ給けれはとしころさはかりわすれかたくうらみひわたり給しかとかくまて思ひ給へし御ことかはたか御ためにもいとおしく侍へきことゝはゝかりもなくきこゆ心やすくわかくおはすれはなれきこえたるなめりいらへもし給はてたゝなきにのみそなき給いとなやましけにてつゆはかりのものもきこしめさねはかくなやましくせさせ給をみをきたてまつり給ていまはをこたりはて給にたる御あつかひに心をいれ給へることゝはこのふみのなをあやしくおほさるれは人みぬ方にてうちかへしつゝみ給さふらふ人〳〵の中にかの中納言の手ににたるてしてかきたるかとまておほしよれとこと葉つかひきら〳〵とまかうへくもあらぬことゝもあり年をへて思ひわたりけることのたまさかにほいかなひて心やすからぬすちをかきつくしたることはいと見所ありてあはれなれといとかくさやかにはかくへしやあたら人のふみをこそおもひやりなくかきけれおちゝることもこそと思ひしかはむかしかやうにこまかなるへきおりふしにもことそきつゝこそかきまきらはししか人のふ

【青表紙本】❶御ありさまにて—御ありさまにて横 ❷としころ—補入横 ❸思ひ給へし—おもふ給へし横池三 ❸御ことかは—御事かは榊 ❹わかく—わかう榊—補入池 ❺なき給—なき給父母そ肖 ❺つゆはかりの—つゆはかりの榊 ❼心をいれ給へる—心をいれたまつる横—心をいれ給つる池 ❽ふみの—ふみ横—ふみを池 ❽おほさるれは—おほさるれは三 ❽うち返しつゝ—うちかく（へ）しつゝ池 ❾中に—なかに榊 ❿あり—あり横 ⓫ことの—補入榊 ⓬いと見所ありて—いとみところありて横—いみ（と）みところありて池 ⓭かやうに—かやうに横 ⓮こまかなるへき—こまかなるへき榊 ⓮かきまきらはししか—かきまきらはししる朱（か朱）大—かきまきらはしる肖

【河内本】❶ほと—程を七 ❷うらみいひわたり—うらみわたり河 ❿年をへて—としへて大 ⓮こまかなるへき—こまやかなるへき大

【別本】❶たに—も阿 ❸給へし—給へき阿 ❸いとおしくいとおしくそ阿 ❹はゝかりもなく—はかりなけき阿 ❹きこゆ—きこゆる保 ❹おはすれは—おはしませは阿 ❺いらへもし—いらへもえせさせ阿 ❺のみそ—ナシ阿 ❺いとなやましけにてつゆはかりなし—いとなやましくて露はかりも阿 ❻たてまつり—奉らせ阿 ❼給にたる—給へる阿 ❼御あつかひに—御あつかひにのみ阿 ❼心—御心保 ❼ことゝ—とのみ阿 ❾中に—中にも阿 ❿まかうたかふ別 ❿ことゝも—事ともものみ阿 ⓫ことは—ことの葉阿 ⓬さやか—さやう阿 ⓭こそと—あるをと阿 ⓮こまかなるへきおりふしにもことそきつゝ—こまやかなるへかりしもことそきて阿 ⓮かきまきらはししか—まきらはししる阿

【青表紙本】❶この人をは―この人をは三 ❷もてなし―しなし陽 ❸心うやかく―心うや陽―心うやかて三 ❹人つてならす―人すてならす池 ❺すさひ―すまひ榊 ❺心を―御心を榊 ❺心わくらむ―心にく覧陽 ❻まして―ナシ陽 ❼御めをも―御めを陽 ❿女御―女院横池 ❿とあるすち―とあるすち肖 ❿かゝるかた―かゝるすかた榊 ⓮いつくしく―いつくしう榊

【河内本】❷御心ちも―御心ちにも國 ❹御心―心國 ❺すさひ―すさみ大 ❻心にも―心〳〵にも七 ❼又―はた大 ⓮思ひはくゝまむ人を―思人を大

かきようゐはかたきわさなりけりとかの人の心をさへみおとし給つさてもこの人をはいかゝもてなしきこゆへきめつらしきさまの御心ちもかゝることのまきれにてなりけりいてあな心うやかく人つてならすうきことをしる〳〵ありしなからみたてまつらむよとわか御心なからもえ思ひなをすましくおほゆるを猶さりのすさひとはしめより心をとゝめぬ人たに又ことさまの心わくらむと思ふは心月なく思ひへたてらるゝをましてこれはさまことにおほけなき人の心にもあらけるかなみかとの御めをもあやまつたくひむかしもありけれとそれは又いふかたこと也宮つかへといひてわれも人もおなし君になれつかうまつるほとにをのつからさるへき方につけても心をかはしそめものゝまきれおほかりぬへきわさ也女御かういといへととあるすちかゝるかたにつけてかたほなる人もあり心はせかならすをもからぬうちましりておもはすなる事もあれとおほろけのさたかなるあやまちみえぬ程はさてもましらふやうもあらむにふとしもあらはならぬまきれありぬへしかくはかり又なきさまにもてなしきこえて内〳〵の心さしひく方よりもいつくしくかたしけなき物に思ひはくゝまむ人ををきてかゝること

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

【別本】❶けり―ナシ阿 ❶給つ―給ぬ阿 ❷もてなし―しなし別 ❷きこゆ―奉る阿 ❷めつらしきさまの御心ち―かのめつらしき御ありさまの心ち阿 ❸なからみたてまつらむ―なからもみかく―ナシ阿 ❹御心―心保 ❹おほゆるを―おほゆるに阿 ❺すさひと：とゝめぬ―すさひに心をとめぬ阿 ❺思ふは―思へは阿 ❻へたてらるゝ―へたてらる保 ❼御めをも―御めを阿 ❼いふかた―ナシ阿 ❸おなし君に阿 ❸おなそうにおなし君に阿 ❸方につけても―ことにふれて阿 ❸ものゝまきれ―物のまきれも阿 ❿いへと…人もありき―いへともかゝるぬ―おもからぬも保 ⓫をもからぬも保―すくれてをもからぬ阿 ⓫あれと―あなれと阿 ⓫さたかなるあやまち―さたかならぬあやまちも阿 ⓫あれはくゝまむ―はくゝむ保 ⓬あらはならぬ―あらはなる阿 ⓮侍らん阿





とはさらにたくひあらしとつまはしきせられ給みかとゝきこゆれとたゝすなはにおほやけさまの心はへはかりにて宮つかへの程ももの事さかきわたくしのねきことになひきをのかしゝあはれをつくしみすくしかたきおりのいらへをもいひそめしねんに心かよひそむ覧なからひはおなしけしからぬすちなれとよるかたありやわか身なからもさはかりの人に心わけ給へくはおほえぬものをといと心月なけれと又けしきにいたすへきことにもあらすなとおほしみたるゝにつけて故院のうへもかく御心にはしろしめしてやしらすかほをつくらせ給ひけむ思へはその世のことこそはいとおそろしくあるましきあやまちなりけれとちかきためしをおほすにそ戀の山ちはえもとくましき御心ましりけるつれなしつくり給へともののおほしみたるゝさまのしるけれは女君きえのこりたるいとおしみにわたりたまひて人やりならす心くるしう思やりきこえ給にやとおほして心ちはよろしくなりにて侍をかの宮のなやましけにおはすらむにとくわたり給にしこそいとおしけれときこえ給へはさかしれいならすみえ給しかとことなる心ちにもおはせねはをのつから心のとかに思ひてなむ内よりはたひ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

❶思やり―おもひ阿 ❷おほして心ちは―思給てこゝには阿 ❷なりにて侍をかの―なり侍をのか阿 ❷おはすらむ―おはする阿 ❸いとおしけれ―かたはらいたけれ阿 ❹心ちにもおはせねは―御心ちにもみえ給はねは阿 ❹思ひて―思給へられて阿

【青表紙本】❶さらに―補入池 ❷程も―ほと横 ❸わたくしの―わ〳〵たくしの榊 ❹なからひは―なからひをは池 ❹おなし―なをし横 ❺さはかりの―さはかりの横 ❻ものをと―ものをと横 ❻けしきに―けしきに三 ❻なと―ナシ肖 ❼御心には―御心も陽 ❼しろしめしてや―しろしめしてや横 ❿給へと―給へとも池 ❿さまの―さま三 ⓫心くるしう―心くるしく横榊池 ⓬心ち―御心ち池 ⓬よろしく―よろしう三 ⓬かの宮の―かの宮横池 ⓮心ちにも―御心ちにも池―心ちも陽―心にも肖

【河内本】❷心さしふかき―心さしふかく大 ❸をのかしゝ―をのかしく（え）御 ❹心かよひ―こゝろとはしき御七宮尾平鳳國―心かはし大 ❺心わけ給へくは―心をわけたまふへくも河 ❻ことにも―ことにかほ大 ❼つけて―つけても河 ❼しらすかほを―しらすらせ―つくり河 ❽その世のこと―そのこと大 ❽あやまち―あやまち御宮尾平大鳳國 ❿きのこりたる―きえのこりたる平國 ⓫心くるしう―やりきこえ―くるしうおるしうおもひやり大 ⓬心ちは―心ちにも―きえのこりたる平國 ⓬かの宮のなやましけに―かの君なやましけにて大 ⓬とく―とて七

【別本】❷ものすさまし―すさまし き人の阿 ❸わたくしの―ナシ阿 ❸みすくしかたきおりの―おりふし阿 ❹そむ―はしむ保 ❹おなし―ナシ阿 ❺すち保―ことのうち阿 ❺心―心を阿 ❼かく―かくや阿 ❼しらすかほを―しらすかほ阿 ❼つけて―つけても保 ❼つくらせ―つくり別 ❽このみち阿 ❾戀の山ち―このみち阿 そはいと―こそいかゝ阿

【青表紙本】❶きこえつけたまへれは—おもひきこえ給へれは三 ❷すこし—すこしも横池 ❹みつから—みつからは池 ❺くるしくなむ—くるしく横池—くるしうなん榊—くるしなむ陽 ❻よすかなけれと—よすかなれと陽三 ❼とやかくや—やかくや陽 ❼おほよそ人の—おほよその人の横池 ❽御心やをき給はん横—御心をやき給はん池 ❽はかり—さはかり三 ❿御心も—御心をも横池 ⓬日ころの—日ころ陽 ⓭かく—かくのみ横—かくのみ池 ⓮つゝましく—つゝましう榊

【河内本】❶ありけり—あり鳳 ❶けふも御ふみ—けふも又文國 ❶ありつとか—ありつかと七 ❶きこえつけたまへれは—きこえ給へれは國 ❷なるへし—なるへし御七 ❷なとも—も御 ❹おほしとかめすとも—おほしとかめすとも大 ❻よすかなけれと—よすかなれと國 ❼おほよそ人の—おほよその人の大 ⓬ふるも—ふる七 ⓭御心のをこたり—御心をこたり御宮尾平大鳳國—御心をこたり七

【別本】❶御ふみ…やむことなく—御つかひありつか の院の阿 ❷かく—しか阿 ❷なる—ナシ阿 ❷すこしも—すこしもをろかにしも阿 ❸ことの—ところの保—所も阿 ❸いとおしき事とて—うちうめき給へは—いとおしきそやとてうめき給つれは阿 ❸きこしめさむ—きこしめさむこと別 ❹みつから—みつからの保—きうしみの阿 ❹われ—みつから阿 ❺人〻—人阿 ❺思へはいとくるしくなむ—思侍れはいと心くるしきなり阿 ❻なと—と保 ❻人のために—心のためは阿 ❼なれと—なれと別 ❼おほよそ人の—おほよその人の保—おもほす人の阿 ❼心—ところ保—事阿 ❽これは—ナシ阿 ❽御心…はゝからむは—心をい給はんはかりしもは阿 ❾しけると—しけるとて保 ❾まきらはす—まきらはすに阿 ❿かへりて—かへりて阿 ❿のみきこえ給—の給阿 ⓫御心…きこえかはし—御心をもなくさめなんほとにもと聞え阿 ⓬日ころの…13いまは—日比をも人のつらさにおもほすも阿 ⓭御をこたり—御おこたりも保—をこたり阿 ⓭なりぬる—なりぬるよ阿 ⓭院も—院にも阿 ⓮つけて—て阿 ⓮おほしめさむ—おもほさん阿 ⓮いみしけにのみいひわたれともこしゝうも—いみしくいひわたれともこしうも阿

〳〵御つかひありけりけふも御ふみありつとか院のいとやむことなくきこえつけたまへれはうへもかくおほしたるなるへしすこしをろかになともあらむはこなたかなたおほさむことのいとおしきそやととてうめき給へは内のきこしめさむよりもみつからうらめしと思ひきこえ給はむこそ心くるしからめわれはおほしとかめすともよからぬさまにきこえなす人〻かならすあらむと思へはいとくるしくなむなとのたまへはけにあなかちに思ふ人のためにはわつらはしきよすかなけれとよろつにたとりふかきこととやかくやとおほよそ人のおもはむ心さへ思ひめくらさるゝをこれはたゝこくわうの御心やをき給はむとはかりをはゝからむはあさき心ちそしけるとほゝゑみてのたまひまきらはすわたり給はむことはもろともにかへりてを心のとかにあらむとのみきこえ給をこゝにはしはし心やすくて侍らんまつわたり給て人の御心もなくさみなむ程にをときこえ給ほとに日ころへぬひめ宮はかくわたりたまはぬ日ころのふるも人の御つらさにのみおほすをいまはわか御をこたりうちませてかくなりぬるとおほすにいとくるしきこしめしつけていかにおほしめさむと世中つゝましくなむかの人もいみしけにのみいひわたれとこしゝうもわつらはしく思ひなけきてかゝるりしとつけてけれはいとあさましくいつのほとにさる事いてきけむかゝることなむあはありふれはをのつからけしきにてももりいつるやうもやとおもひしたにいとつゝましくそらにめつきたるやうにおほえしをましてさはかりたかふへくもあらさりしことゝもをみ給てけむはつかしくかたしけなくかたはらいたきにあさゆふすゝみもなきころなれと身もしむる心ちしていはむかたなくおほゆとしころまめことにもあたことにもめしまつはしまいりなれつる物を人よりはこまかにおほしとゝめたる御けしきのあはれになつかしきをあさましくおほけなき物に心をかれたてまつりてはいかてかはめをもみあはせたてまつらむさりとてかきたえほのめきまいらさらむも人めあやしくかの御心にもおほしあはせむことのいみしさなとやすからす思ふに心ちもいとなやましくて内へもまいらすさしてをもきつみにはあたるへきならねと身のいたつらになりぬる心ちすれはされはよとかつはわか心もいとつらくおほゆいてやしつやかに心にくきけはひみえ給はぬわたりそやまつはかのみすのはさまもさるへきことかはかゝることなむあ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

❶いと—ナシ阿 ❷つみには—つみに別 ❷あたるへきならねと—あたるへきことにはあらねと保—あたるへきにはあらねと阿 ❸かつは—ナシ阿 ❸いとゝ—ナシ阿 ❸いてや—ナシ阿 ❸しつやかに—つしやかに別 ❹かの—ナシ阿 ❹かる〳〵し—かゝらし阿

【青表紙本】❹そらに—そらを（に）榊 ❺ことゝも—ことゝも肯 ❺み給てけむ—み給けん榊 ❺かたはらいたきに—かたはらいたき陽 ❻すゝみも—すゝみも池 ❻なれと—なれは肯 ❼こまかに—まめやかに横池—こまやかに榊陽肯三 ❽あさましく—あさましう榊 ❾たてまつりては—たてまつりては榊 ❾めをも—めを三 ❿心ちも—心も三 ⓫つみには—つみに榊 ⓬あたるへき—あたるへき陽 ⓬心ち—心地の横池 ⓬されはよと—されはよとて榊 ⓭心も—御心も榊 ⓭いと—いと池 ⓭しつやかに—しつやかに横—しつやかに榊—しつかに池 ⓮わたり—あたり池 ⓮かる〳〵し—かろ〳〵し池

【河内本】❹さはかり—ナシ大 ❺み給てけむ—み給けん河 ❺ころなれと—心なれとも大—こゝろなれと鳳 ❻いはむかたなく—いはんかたなく平 ❼こまやかに河 ❾めをも—めも大 ⓬つみには—つみに河 ⓭しつやかに—しつかに御七平鳳國

【別本】❷つけてけれは—いとあさましく阿 ❸にても—にて阿 ❸やうもや—さやうもや保—事もやあらん阿 ❹ましてさはかり—さし給けんか阿 ❺かたはらいたき—かたはらいたきを阿 ❻しむる—ひえしむ阿 ❻めしまつはし—ナシ阿 ❼こまか—こまやか保 ❽いかてかは—いかてかあさましく阿 ❾いかてかは—いかてかめやし保—人も心をき阿 ❿人めあやしく—人めあやしき阿

【青表紙本】❶おもひ給へるー給へるーおもへ（ひ給へ）る池 ❶けしきー けしきに三 ❷思ひさまさむー おもひさんと榊 ❷つけたてまつらまほしきー つけまつらまほしき横池 ❹かつさふらふー かつは（候）横 ❹かくー かくて榊 ❺人のためもー ナシ横池 ❺思ひはなたれー おもひはなたれ榊 ❻さまー 御有さま肖 ❻かくー かく榊 ❿いたはしくー いたはしく三 ❿きこゆるー きこゆる池 ⓫きこえー ナシ榊 ⓬もてなしてー もてもてなして榊 ⓬みたるゝにー ゝに（ミ）たるゝに榊 ⓯みきとも ー みきとこと三 ⓮心もとなくー 心もとなう榊

【河内本】❶おもひ給へるー おもひたまへりし御七尾平大鳳國ー給へりし宮 ❷思ひさまさむとー思給はんと國 ❷なむつけたてまつらまほしき國 ❸ありさまもー ありさまをもたてまつらまほしき國 ❸ありさまー ありさまを給ー心をゝき給河 ❹しらすー えしらす大七 ❹いとおしきー いとおしく七 ❹おしくー おしく七 ❺心くるしきもー 心くるしさもみこゝろくるしさも七 ❺心くるしきー くるしさも國 ❻らうたけにてー らうたけにたれー思はなれ平國 ❻さまゝゝにー さまゝゝに河 ❻さまゝゝにー さまゝゝに大 ❾さまゝゝにー さまゝゝに河 ❿うちかたらひたまふ河 ❿うちかたらひきこえ給ー うちかたらひたまふ河 ⓮心をさなしー 心おなし國 ⓮おほする國

【別本】❶給へるー給へりし保 ❶みえきー その阿 ❶方にてー かゝるに阿 ❷なむー なんを阿 ❷あらむー ナシ阿 ❸あまりー たゝ阿 ❸おほとかにー おほとかにて阿 ❸ありさまもー ありさまを別 ❹かくー かくて阿 ❹御身のため人のためもー 御身のため人のため阿 ❺ことにもー ことも阿 ❺心くるしさもえ思ひはなたれー 御心くるしさも思はなれ阿 ❻いとうたけー らうたけ阿 ❻なをー ナシ阿 ❼はなちー はなちきこえ別 ❼つけてはあやにくにうきにまきれぬこひしさのー つけてもうきにましる懸しさも阿 ❾ことはー 事阿 ❿まし給けちかくうちかたらひきこえ給ー しに給にちかくかたらひ開ゆる阿 ⓫いとー ナシ阿 ⓬めやすくー やすく阿 ⓬のみー ナシ阿 ⓬このー ナシ阿 ⓬しもそー しも阿 ⓮さまもー さまいと阿

将のおもひ給へるけしきみえきかしなといまそ思ひあはするしねてこのことを
思ひさまさむとおもふ方にてあなかちになむつけたてまつらまほしきにやあら
むよきやうとてもあまりひたおもむきにおほとかにあてなる人は世のありさま
もしらすかつさふらふ人に心をき給こともなくてかくいとおしき御身のためも
人のためもいみしきことにもあるかなとかの御ことの心くるしさもえ思ひはな
たれ給はす宮はいとらうたけにてなやみわたり給さまのなをいと心くるしくか
く思ひはなちたまふにつけてはあやにくにうきにまきれぬこひしさのくるしく
おほさるれはわたり給てみたてまつり給につけてもむねいたくいとおしくおほ
さる御いのりなとさまゝゝにせさせ給おほかたのことはありしにかはらすなか
ゝいたはしくやむことなくもてなしきこゆるさまをまし給けちかくうちかた
らひきこえ給さまはいとこよなく御心へたゝりてかたはらいたけれは人めはか
りをめやすくもてなしておほしのみみたるゝにこの御心の内しもそくるしかり
けるさることみきともあらはしきこえ給はぬにみつからいとわりなくおほした
るさまも心をさなしいとかくおはするけそかしよきやうといひなからあまり心





もとなくをくれたるたのもしけなきわさなりとおほすに世中なへてうしろめた
く女御のあまりやはらかにをひれたまへるこそかやうに心かけきこえむ人はま
して心みたれなむかし女はかうはるけ所なくなよひたるを人もあなつらはしき
にやさるましきにふとめとまり心つよからぬあやまちはしいつるなりけりとお
ほす右のおとゝの北の方のとりたてたるうしろみもなくおさなくよりものはか
なき世にさすらふるやうにておいいて給けれとかと〳〵しくらうありて我もお
ほかたにはおやめきしかとにくき心のそはぬにしもあらさりしをなたらかにつ
れなくもてなしてすくしこのおとゝのさるむしんの女房に心あはせていりきた
りけんにもけさやかにもてはなれたるさまを人にもみえしられしことさらにゆる
されたるありさまにしなしてわか心とつみあるにはなさすなりにしなといまお
もへはいかにかとあることなりけり契ふかき中なりけれはなかくかくてたもた
むことはとてもかくてもおなしことあらまし物から心もてありしことゝも世人
もおもひいてはすこしかる〳〵しき思ひくはゝりなましいといたくもてなして
しわさなりとおほしいつ二条の内侍のかむのきみをは猶たえすす思ひいてきこえ

【青表紙本】❶おほすに ー おほすに榊 ❸かう ー かく横池 ❹心つよからぬ ー 心よからぬ陽 ❹しいつる ー しつる横池 ❻おいいて ー おいいて大 ❻かと〳〵 ー しう榊三 ❼心のそはぬにしも ー 心そはぬにしも横池 ー 心のそはぬにしも榊 ❼あらさりし ー あらさりしを池 ❿なさす ー なさす榊 ⓫いかにかとあること ー いかにしかとありし（る）こと池 ⓫なかく ー ナシ陽 ⓫たもたむ ー たもとたん池 ⓮おほしいつ ー おほしいつるに池 ⓮内侍のかむのきみを は ー 内侍かむのきみは横池

【河内本】❷女御の ー 女御の御ありさまの河 ❸心みたれなむかし ー 心みたれんかし宮 ❸あなつらはしき ー きにやー あなつらはしきそや河 ❹あやまちは ー あやまち國 ❻さすらふるやう ー さすらふやうにて ー さすらふやうにて平 ー さふらふやうにて國 ❽すくし ー ナシ國 ❾さまを ー さまをも七 ❾みえしられ ー みえしらぬ七 ❿つみあるには ー あるつみには河 ⓫いかに ー いかにも平國 ゝ河 ⓬世人 ー よの人平國 ⓭おもてには國

【別本】❶をくれたるー をくれたるさまの阿 ❶うしろめたなく保 ❷女御の ー 女のいと ❷心かけ ー 心をかせ阿 ❹りぬ阿 ❺右のおとゝ ー 右の大ゐ殿 ❺とりたてたる ー こ ❺おさなくより ー おさなくより阿 ❻おほかたには ー 思かたに阿 ❻もてなして ー もてなし別 ❽いりきたりけん ー 入きたりける阿 ❾人にも ー 人に阿 ❾ゆるされ ー 人にゆるされ別 ❿たる ー あるつみには ー あるつみに阿 ❿いま ー いひ保 ⓫契ふかき ー さてちきりふかき阿 ⓫かくてたもたむことはとても ー ナシ阿 ⓬あらまし物から心 ー あらましかはわか心阿 ⓬こと ゝ保 ー 事そと阿 ⓭いては ー ナシ阿 ⓭思ひくはゝりなまし ー おもわくはかりなましかし阿

【青表紙本】❶かく—かかく榊 ❷給けり—たまひにけり陽 ❸うこきて—うこきて横 ❹いまなむとたに—いまなとたに横—いまなんとき（たに）榊 ❻さためなさ—さためなき榊 ❼うち—ついて池—中肖❼まつこそは—まつこそはなと池—まつこそはなと陽 ❸なむなと—なむと三 ❸たちにし—たちし陽 ❾あらはし—あらはかし池 ❾なれと—なれは陽 ❿しられぬ—しられぬる榊 ⓫御返—御かへり横 ⓬すみつきなと—すみつきなと榊—すみつき陽 ⓬身ひとつのみ—身ひとつにのみ横榊池陽肖三 ⓭のたまはせたる—のたまはせたる横—のたまませはせたる榊 ⓮あま舟に—あまふねの榊 ⓮いさり—あさり三

【河内本】❷し給てけり—したまひてける宮 ❷きゝ給ては—きゝ給て河 ❻さためなさを—さためなき河 ❼まつこそはあはれに—まつこそはあはれと七 ⓬いと—ナシ七 ⓬つのみ—身ひとつにのみ河 ⓭のたまはせたるにいかゝはおもひをくれけん御—のたまはせたるにいかゝはおもひくれけん御ん—をくれけける阿 ⓮いさり—あさり河 ⓮ゑかうには—ゑかうは鳳

【別本】❶かく—とかく阿 ❶おほしして—おほしてて阿 ❷給けり—けり阿 ❷きゝ給ては—きく給は阿 ❸なむと—なと阿 ❸に—にほはし—にほひ阿 ❺さま〳〵なる事阿 ❻さためなさ—さためなき阿 ❻おもひつめて—しりて阿 ❻きこえ—ナシ阿 ❻くちおしさをおほしすてつとも—くちおしさをなんなへての世をおほしすつとも阿 ❼こそは—こそはなと保 ❽おほく—ナシ阿 ❽御さまたけ—御さま阿 ❾人には—人に阿 ❾なれと心の内—なれは心のうちには阿 ❿御契を—御ちきりの阿 ❿おほしいてらる御返—おほしらるしらぬを阿 ❿おほしられぬ—おほしられぬ阿 ⓫心とゝめてかき給すみつきなとい—みつき心とゝめてかひ給阿 ⓬世とは—世は阿 ⓬侍にしかとをくれたる阿 ⓮をくれけん—をくれけける阿 ⓮いさり—あさり阿

給へとかくうしろめたきすちのことうき物におほしなりてかの御心よはさもすこしかるく思ひなされ給けりつゐに御ほいの事し給てけりときゝ給てはいとあはれにくちおしく御心うこきてまつとふらひきこえ給いまなむとたににほはし給はさりけるつらさをあさからすきこえたまふ

あまの世をよそにきかめやすまの浦にもしほたれしもたれならなくにさま〴〵なる世のさためなさを心におもひつめていままでをくれきこえぬるくちおしさをおほしすてつともさりかたき御をかうのうちにはまつこそはとあはれになむなとおほくきこえ給へりとくおほしたちにしことなれとこの御さまたけにかゝつらひて人にはしかあらはし給はぬことなれと心の内あはれにむかしよりつらき御契をさすかにあさくしもおほしなりて侍にしをしられぬなと方〴〵におほしいてらる御返いまはかくしもかよふましき御ふみのとちめとおほせはあはれにて心とゝめてかき給すみつきなといとおかしつねなき世とは身ひとつのみしり侍にしをゝくれぬとのたまはせたるにいかゝは思ひをくれけんあかしのうらにいさりせしきみゑかうには





【青表紙本】❶かと—かこと横池—かた肖三 ❶しきみに—しきみにてしきみに池 ❶さしたまへは—さし給へる横榊池陽肖三 ❸みせたてまつり—みせさせ（たて）まつり池 ❹こそ—こそは三 ❹はつかしめられたれ—はつかしめられたれ横池—はつかしめられけれ肖 ❹さま〴〵—さま〴〵に陽 ❺世のことにても—世に事にても池—よのなかにても三 ❻物を—ナシ三 ❼かはしつへき—かはし給（つ）へき榊 ❼こそは—こそ榊 ❼のこりありつるを—のこりつるを榊 ❽給にたなり—給にたなり横—給ひためり肖—給にためり三 ❽なを—ナシ榊 ❾ありさまを—有さま榊 ❾中に—なかに榊三 ❿御なすらひ—御なすらひ横—なすらへ三 ❿女こを—女子三 ❿おほしたてむ—おほしいてん肖 ⓫かたかるへき—かたかるへき三 ⓬おいたゝむ—おひたち（ゝ）ん池 ⓭あまた—ナシ榊

【河内本】❶さしたまへは—さし給へる河 ❺よく—かく大 ❺ことにても—事にても—むつひかはし給つへき宮尾平鳳國 ❼人—ナシ七 ❽齋院—さいゐんは宮尾 ❾きゝみる—みる河 ❿女こを—女子三 ⓫かたかるへき—かたかるへき三 ⓬おいたゝむ—おひたち（ゝ）ん池 ⓭あまた—ナシ榊

【別本】❶にても—に阿 ❶ありけり—ありける阿 ❶さしたまへは—給へり別 ❷いたく—いたく阿 ❷ふてつかひなをふりかたく—筆つかひのさまなと猶ふりす阿 ❸女君にも—この女君には阿 ❹はつかしめられたれ—はつかしめられたり保 ❹けに心月なしやさま〴〵—さま〴〵に阿 ❹心ほそき—はかなき保—心つかひ阿 ❺よく—ナシ阿 ❺やうなるよ—かな阿 ❺世の—ナシ保 ❺はかなく—たゝはかなく阿 ❻よせて—つけて阿 ❼人—ナシ阿 ❼こそは—こそは□保 ❼ありつるをかく—給つるを阿 ❽いみしう—いといみしう阿 ❽つとめて—つとめ別 ❽をこなひにしみ給にたり—おこなひしつみ給なんなり阿 ❾こゝら人—こゝら人保 ❾思ふさまに—おもく阿 ❿御なすらひにたに—御なすらへにたに阿 ❿女こを—をんなこ阿 ⓫かたかるへきわさ—かたかへいこと保—かたいわさ阿 ⓫いふらむ—いふなる保—いふ阿 ⓫わさにて—物にて阿 ⓬おいたゝむ—おいたらん阿 ⓬ちから—おやのちから阿 ⓭方〳〵に—にて阿 ⓮なりけれ—なりけれと保 ⓮わさやさま〴〵に—わさやとさま〴〵にて阿

はあまねきかとにてもいかゝはとありこきあをにひのかみにてしきみにさしたまへはれいの事なれといたくすくしたるふてつかひなをふりかたくおかしけなり二条院におはします程にて女君にもいまはむけにたえぬる事にてみせたてまつり給いといたくこそはつかしめられたれけに心月なしやさま〴〵心ほそき世中のありさまをよくみすくしつるやうなるよなへての世のことにてもはかなく物をいひかはし時〳〵によせてあはれをもしりゆへをもすくさすよそなからのむつひかはしつへき人は齋院とこの君とこそはのこりありつるをかくみなそむきはてゝ齋院はたいみしうつとめてまきれなくをこなひにしみ給にたなりなこゝらの人のありさまをきゝみる中にふかく思ふさまにさすかになつかしきとのかの人の御なすらひにたにもあらさりけるかな女こをおほしたてむことよいとかたかるへきわさ也けりすくせなといふらむものはめにみえぬわさにてやの心にまかせかたしおいたゝむ程の心つかひはなをちからいるへかめりよくこそあまた方〳〵に心をみたるましき契なりけれ年ふかくいらさりしほとはさうへ〳〵しのわさやさま〳〵にみましかはとなむなけかしきおり〳〵ありしわか

【青表紙本】❶おほしたて—おほし榊宵 ❶物の心を—物ゝこゝろ横池三 ❶ほとならて—ほとなら(ゝ)て横 ❷し給へは—し給へ三 ❹とさまかうさまの—とさまかうさまに(の)横 ❺それにも—それにも池 ❻御うしろみ—御うしろみ池 ❼いかならむ—いかなら ん横 ❿それ—それを三 ⓫六条の—六条院の横 ⓫うるはしき—うるはしく横 ⓫みめも—みるめも宵三 ⓬けうとかるへし—けうとかるへし榊 ⓬心は—心は三 ⓭せさせ—補入榊 ⓭つくも所—つくもし(とこ)ろ池 ⓮なと—とも三

【河内本】❶心して—ふかく心して七 ❶おほしたて—たてまつり—おほしたてまつり七國 ❶給へ—給へ

宮を心しておほしたてたてまつり給へ女御は物の心をふかくしりたまふほとな らてかくいとまなきましらひをし給へはなに事も心もとなき方にそものし給覧 みこたちなむなをあくかきり人にてむつかるましくて世をのとかにすくし給は むにうしろめたかるましき心はせつけまほしきわさなりけるかきりありてとさ まかうさまのうしろみまうくるたゝ人はをのつからそれにもたすけられぬるを なときこえ給へははか〳〵しきさまの御うしろみならすとも世になからへんか きりはみたてまつらぬやうあらしと思ふをいかならむとて猶物を心ほそけにて かく心にまかせてをこなひをもとゝこほりなくしたまふ人ゝをうらやましく思 ひきこえたまへりかむの君にさまかはりたまへらむさうそくなとまたゝちなれ ぬほとはとふらふへきをけさなとはいかにぬふ物そそれせさせ給へひとくたり は六条のひむかしの君にものしつけむうるはしき法ふくたちてはうたてみめも けうとかるへしさすかにその心はへみせてをなときこえ給あをにひのひとくた りをこゝにはせさせ給つくも所の人めしてしのひてあまの御くともの さるへき はしめのたまはす御しとねうわむしろ屏風木長なとの事もいとしのひてわさと

【別本】❶おほしたて—おほし榊宵 ❶物の心を—物ゝこゝろ横池三 ❶ほとならて—ほとなら(ゝ)て横 ❷し給へは—し給へ三 ❹とさまかうさまの—とさまかうさまに(の)横 ❺それにも—それにも池 ❻御うしろみ—御うしろみ池 ❼いかならむ—いかなら ん横 ❿それ—それを三 ⓫六条の—六条院の横 ⓫うるはしき—うるはしく横 ⓫みめも—みるめも宵三 ⓬けうとかるへし—けうとかるへし榊 ⓬心は—心は三 ⓭せさせ—補入榊 ⓭つくも所—つくもし(とこ)ろ池 ⓮なと—とも三

【河内本】❶心して—ふかく心して七 ❶おほしたて—たてまつり—おほしたてまつり七國 ❶給へ—給へ

❷方に—かたにて阿 ❷そ—かたにて阿 —のとやかに世を阿 ❸人にて—まて阿 ❸世を—のとかに—のとやかに世を阿 ❸給はむ—給阿 ❹心はせつけまほしき—心はせはかきまほしき阿 ❹の給へは—の給へは阿 ❻きこえ給へは—やうは阿 ❼やう—やうは阿 ❼いかならむ—いかゝあらん保 ❼物を—ナシ阿 ❽かく心に—まかせてをこなひをも—おこなひを阿 ❽人ゝを—人 ❾かはりたまへり—思やり聞え給阿 ❾さまかのさま別 ❾かはりたまへらむさうそくなとまた—かはるらん御せうそく阿 ❿なとは—なと阿 ❿それ—ゝ(ソ)れを保 ⓫ものしつけむ—物し侍らん阿 ⓫その阿 ⓬給—給へ—その事もいとしのひてわさとは國 ❶女御は—女御も河 ❹うしろめたかるましき—うしろめたなかるましき鳳 ⓭御くともの—御くともも七

【別本】❶おほしたて—おほし阿 ❶心を—心をも保 ❷方に—かたにて阿 ❸人にて—まて阿 ❸世を—のとかに—のとやかに世を阿 ❸給はむ—給阿 ❹心はせつけまほしき—心はせはかきまほしき阿 ❻きこえ給へは—やうは阿 ❼やう—やうは阿 ❼いかならむ—いかゝあらん保 ❼物を—ナシ阿 ❽かく心に—まかせてをこなひをも—おこなひを阿 ❽人ゝを—人 ❾かはりたまへり—思やり聞え給阿 ❾さまかのさま別 ❾かはりたまへらむさうそくなとまた—かはるらん御せうそく阿 ❿なとは—なと阿 ❿そ れ—ゝ(ソ)れを保 ⓫ものしつけむ—物し侍らん阿 ⓫その阿 ⓬給—給へ—その事もいとしのひてわさとは ⓭こゝには—こゝにては保 —こゝにて阿 ⓭給—給へく阿 ⓭御くともの—御くとも保 —御くともの事に阿 ⓭さるへきはしめのたまはす—なにくれの事おほせ給阿 ⓮屏風木長なとの事も—うちしきなにくれ屏風なとのを阿





かましくいそかせ給けりかくて山のみかとの御賀ものひて秋とありしを八月は
大将の御忌月にてかくそのことをこなひ給はむにひんなかるへし九月は院のお
ほきさきのかくれ給にし月なれは十月にとおほしまうくるをひめ宮いたくなや
み給へは又のひぬ衛門督の御あつかりの宮なむその月にはまいり給けるおほき
おとゝゐたちていかめしくこまかにもののきよらきしきをつくし給へりけりか
むの君もそのついてにそ思ひおこしていてたまひけるなをなやましくれいなら
すやまひつきてのみすくし給宮もうちはへてものをつゝましくいとおしとのみ
おほしなけくけにやあらむ月おほくかさなり給まゝにいとくるしけにおはしま
せは院は心うしと思ひこえ給かたこそあれいとらうたけにあえかなるさまし
てかくなやみわたり給をいかにおはせむとなけかしくてさまゝ〳〵におほしな
く御いのりなとことしはまきれおほくてすくし給御山にもきこしめしてらうた
くこひしとおもひきこえ給月ころかくほか〳〵にてわたり給事もおさ〳〵なき
やうに人のそうしけれはいかなるにかと御むねつふれて世中もいまさらにうら
めしくおほしてたいの方のわつらひけるころはなをそのあつかひにときこしめ

【青表紙本】❶かくて—ナシ陽 ❶みかとの—みかと榊 ❶八月は—八月宵 ❷かくそのこと—かく所陽 ❸いたく—いたう榊 ❹御あつかりの宮—御あつかり宮榊 ❺給へりけり—給けり三 ❻思ひおこして—おもひをこして横池 ❼みすくし給—みすくし給大 ❼宮も—宮三 ❽かたこそ—方にそ陽 ❽いかなるにかと—いかなるにかとと三 ❽つふれて世中も—つふれてよの中も横 ❽たいの方の—たいのかた陽

【河内本】❷かくそのこと—かくそ事國 ❷院のおほきさき七 ❸十月にと—十月なと平—十月になと國 ❸おほしまうくるを—おほしまうけつるを河 ❹衛門督—ゑもんかみ國 ❹その月に は—その月に河 ❺けり—ナシ河 ❻いてたまひける—いて給けり國 ❼いとおし—いとうし御七 ❽けにやあらむ—けにややらん御 ❾心うしと—いと心うしとやうけつるを河 ❹衛門督—ゑもんかみ國 ❹その月に は—その月に河 ❺けり—ナシ河 ❻いてたまひける—いて給けり國 ❼いとおし—いとうし御七 ❽けにやあらむ—けにややらん御 ❾心うしと—いと心うしと河

【別本】❶いそかせ給けり—いそきせさせ給阿 ❶秋とありし—秋にも成ぬる阿 ❷かくそ—かくところ阿 ❷九月は—九月は院のおほきさき—院のおほきさき別 ❸給にし—給し阿 ❸おほしまうくるをひめ宮—おほしまうけつる姫宮の阿 ❹給へは又—給けれは阿 ❹御あつかりの宮—御あつかりのみこ阿 ❹月には—月に別 ❺いかめしく—いまめかしく—いかめしう阿 ❺給へりけり—給けり別 ❺もののきよらきしき—きよら阿 ❻おほしまうくるを—おほしまうけつるを給て阿 —いてたち保 ❼や まひつきてのみ—やまひつき給て阿 ❼ものをつゝましくいとおしと—物のみつゝましていとおしく阿

【青表紙本】❶たに―たに池 ❷なをりかたく―なをさりかたく榊 ❸ころほひひむなき―ころほひゝ朱（ひ朱）むなき大 ❸みやひを―みやひを池 ❹うきこと―うきことモ横 ❹さへ―ナシ榊 ❻宮に―宮にも横池 ❻そのことゝなくて―その事となくて榊 ❽なやみ給なるさまは―なやみ給なるさま横池―なやみ給さま榊 ❾しのひすくし―しのひてすくし陽 ❿へきには―へきにも陽 ⓬ほいなく―ほむいなく池 ⓭御返―御かへり横榊 ⓮御せうせこ―御せうそこ横榊 池陽肖三 ⓮まろ―まつ横池陽

【河内本】❶ころほひ―ころほひは七 ❸みやひをかはすへき―みやひをはすへき御―みやひをはすへき御―みやひをはすへき御

【青表紙本】❶をき給へる—ゆつりをき給へる肖 ❶ひきつつき—ひきつゝき(つ朱)き大—ひきつゝき。三❷あえなく—あえへなく横 ❸なむ—ナシ陽 ❺たれも〳〵—たれ〳〵も横 ❻よはひともに—よはひともに榊 ❻なりにたるを—なりにたり榊 ❼御世—御世池 ❽御な—御なも榊—御なの肖三 ❿涙のみ—なみたの陽 ⓭むつかしく—むつかしう榊

【河内本】❶をき給へる—ゆつりをき給へる河 ❺たれも〳〵—たれも御 ❼おはせし—おはせしと大 ❼いとゝ—いと七 ❾みたり給な—みたれたまふな御七 ❿つく〳〵と—ナシ河 ⓮ひきよせ給て—ひきよせて大

【別本】❶をき給へる—ゆつりをき給へる別 ❶つつき—ひきつゝき ❷おほされんに—おほされん事を阿 ❸人ゝもいまは—人ゝ今しはしかけとゝめらるゝ—人ゝ今しはしかけとゝめらるへき阿 ❹ゆくすゑ—行き阿 ❹給めれは—給阿 ❺世のとけくはと—のとけくは別 ❺世をきつへき阿 ❻身をすてむも—身をもすてんに阿 ❻よはひともに—よはひともに—よはひにもなん阿 ❼あつしくいとゝなりまさる給阿 ❽御なも保—御なも給 ❾よの—ナシ阿 ❾御みちの—御みち保—ナシ阿 ❿ならむも—なん阿 ❿おそろしからむ—おそろし阿 ⓫涙のみおちつゝ—なみたのおちて阿 ⓫しみて—しらて阿 ⓬うへにてもとかしくきゝ思し—うへにてもとかしくうるき—むつかしき阿 ⓮はかりの給つゝ阿 ⓮手つからおしすり—御手つからをしすり給阿 ⓮とりまかなひ—とりて保—とりいてゝ阿

をき給へる御心はえのあはれにうれしかりしをひきつつきあらそひきこゆるやうにておなしさまにみすてたてまつらむことのあえなくおほされんにつゝみてなむ心くるしとおもひし人ゝもいまはかけとゝめらるゝほたし許なるも侍らす女御もかくてゆくすゑはしりかたけれとみこたちかすそひ給めれは身つからの世たにのとけくはとみをきつへしそのほかはたれも〳〵あらむにしたかひてもろともに身をすてむもおしかるましきよはひともになりにたるをやう〳〵すゝしく思ひ侍院の御世のゝこりひさしくもおはせしいとあつしくいとゝなりまさり給てもの心ほそけにのみおほしたるにいまさらに思はすなる御なもりきこえて御心みたり給なこの世はいとやすしことにもあらすのちのよの御みちのさまたけならむもつみいとおそろしからむなとまほにそのことゝはあかし給はねとつく〳〵ときこえつゝけ給に涙のみおちつゝ我にもあらすおもひしみておはすれは我もうちなきたまひて人のうへにてももとかしくきゝ思しふる人のさかしらよ身にかはることにこそいかにうたてのおきなやとむつかしくうるさき御心そふらんとはちたまひつゝ御すゝりひきよせ給て手つからおしすりかみとりまかなひかゝせたてまつり給へと御てもわなゝきてえかき給はすし返事はいとかくしもつゝますかよはし給らむかしとおほしやるにいとにくけれはよろつのあはれもさめぬへけれとこと葉なとをしへてかゝせたてまつり給まいり給はむ事はこの月かくてすきぬ二の宮の御いきをひことにてまいり給ひけるをふるめかしき御身さまにてたちならひかほならむもはゝけりしも月は身つからの忌月也としのをはりはたいとものさはかしまたいとゝこの御すかたもみくるしくまちみ給はんをと思ひ侍れとさりとてさのみのふへきことにやはむつかしく物おほしみたれすあきらかにもてなし給てこのいたくおもやせ給へるつくろひ給へなといとらうたしとさすかにみたてまつりたまふ衛門督をはなにさまの事にもゆへあるへきおりふしにはかならすことさらにまつはし給つゝのたまはせあはせしをたえてさる御せうそこもなし人あやしと思ふらんとおほせとみむにつけてもいとゝほれ〳〵しき方はつかしくみむには又わか心もたゝならすやとおほしかへされつゝやかて月ころまいり給はぬをもとかめなしおほかたの人はなをれいならすなやみわたりて院にはた御あそひなと

【青表紙本】❷かくしも—かくしも榊 ❷給らむかし—給はんかし横池 ❸さめぬへけれと—さめぬへく朱(け朱)れと大 ❹この月—この月は榊 ❺ならむなるならむ池 ❻忌月—御忌月池 ❻また—きた陽 ❻いとゝ—いと榊 ❾みたてまつり—みたてまつらせ(り)榊—みたてまつり三 ⓫のたまはせあはせしを—の給へあはせしを榊 ⓫御せうそこ—御せうそく横 ⓬いとゝ—いと池 ⓮院に—院には横池三 ⓮はた—はた榊 ⓮なと—なと池

【河内本】❶わなゝきて—わなゝかれて大 ❷返事—御返事御七 ❸ものさはかし—ものさはかしく七 ❻いとゝ—いと大 ❼さのみ—さてのみ河 ❽物おほしみたれす七 ❾おもやせ給へる—おもやせ給へ御 ⓫のたまはせあはせしを—の給はせしを平岡 ⓮なと—ナシ七大

【別本】❷給らむかしとおほしやるに—給らんかなとおもほしやるか阿 ❷にくけれは—うけれは別 ❸給まいり—ナシ阿 ❹事は—ほき—おほきさま保—お君すかた阿 ❺心ちしけり—心ちし給けり阿 ❻しも月は身つからの忌月—霜月はた御き月阿 ❻をはりはたいとゝ—ものさはかしく阿 ❻をはりも物さはかしく阿 ❼給はんを阿 ❼きのみ—又阿 ❽物おほし—思阿 ❿おりふし—をり保 ⓫給つゝ—給て阿 ⓫のたまはせあはせしを—の給あはせしを—の給はせしを御—ものおほしみたれす—ものおほしみたれす—おもやせ給へ—おもやせ給へ—おもやせ給へ御 ⓫のたまはせあはせしを—のたまひあはせしを御—の給はせしを平岡 ⓬又—ナシ大 ⓮なと—ナシ別

【別本】❶たてまつり—ナシ阿 ❷給らむかし—なとは阿 ❷給らむかしとおほしやるか阿 ❸こと葉なと—ナシ阿 ❸こと保 ❺御身さま—おた阿 ❺心ちしけり—心ちつからの忌月—霜月はた御きものさはかし—をはりも物ナシ別 ❼給はんをと—給はんを阿 ❽ことにやはことにや保 ❽物おほし—思阿 ❿おりふし—をり保 ⓫給つゝ—給て阿 ⓫のたまはせあはせしを—の給あはせしを—の給はせしを御—ものおほしみたれす—ものおほしみたれす—おもやせ給へ—おもやせ給へ御 ⓫のたまはせあはせしを—のたまひあはせしを御—の給はせしを平岡 ⓬又—ナシ大 ⓮なと—ナシ別

阿 ⓫さる—ナシ阿 ⓫御せうそこ—せうそく保 ⓫人—人や保—人も阿 ⓬みむにつけても阿 ⓬ほれ〳〵しき—おれ〳〵しき阿 ⓬方—かたは保 ⓬みむには—ナシ保—みんに阿 ⓬又—ナシ保 ⓭わか心も—ナシ阿 ⓭やかて月ころ—月ころもやかて阿 ⓮おほかたの人—大かた此人阿 ⓮れいならす—れいのやうにあらす阿 ⓮院にはた—院にも阿 ⓮なと—ナシ別

【青表紙本】❶なるへし—なるへしと三 ❷十二月に—十二月に榊 ❸十二月に榊—十よ日 ❹十よ日と—十日よ日と榊—十よ日よひと池 ❹ならし—ならはし宵三 ❹うち—中池 ❺よりそ—よりて朱(て)ハ補入シテ朱ニテミセケチニセリ)そ大—よりてそ横池 ❺えしつめはてゝ—(え朱)しつめはてゝ大—しつめはてゝ陽 ❺みこは—みこは(も)池—みこも陽 ❼すき〳〵—すきすき(き)榊 ❾うち〳〵—うちく〳〵にてう(し)かくの池 ❿あそひならし—あそひなと(ら)し宵 ⓫衛門督を—衛門のかみは三 ⓫ましらはせ—ましろはせ陽三 ⓬うちに—うちにも陽 ⓭くるしけなる—なくるしけなる榊 ⓮思ふ心の—おもふこゝろ横池—おもふ心の榊 ⓮あるにや—あるから朱(に朱)や大 ⓮心くるしく—心くるしう榊

【河内本】❶のみ—の國 ❷ことにはし—ことにえしのはぬにや宮尾平大鳳國 ❸のこりなき—のこりなかさ平 ❹まひとも—まひ人も大 ❹ゆすりて—ゆすり國 ❸おほされける—おほされけり大 ❸試樂に—しかくには大 ❸右大臣殿—右のおゝい殿 御宮尾平大鳳國—左のおほいとの七 ❿あそひ—ナシ國 ⓫ましらはせさら—ましらせさらんは大 ⓭そこはかと—そこはかとなく河 ⓭あらさなるを—あらさるを宮

【別本】❶のみ思ひわたる—思たる阿 ❶ことなる—ナシ阿 ❷ことには—ことに別 ❷しのはぬにや—えしのはぬことや保—しのはぬ事や阿 ❷思ひよれと—思よれとも阿 ❸さまならむとは—さるらんとまては阿 ❸おもひより—思おより別 ❸なりにけり—なりぬ別 ❹十よ日—十日よひ阿 ❹二条の院のうへ—二条のうへ阿 ❺よりそ—よりてそ阿 ❺えしつめは—てゝ—えしつめ給はす阿 ❻又—ナシ阿 ❼すき〳〵—すきく〳〵—いとおかしけにておはしますを—しかくには別 ❽右大臣殿の…り大將の君—右大殿の北方わたりたまへる大將も阿 ❾てうかくのやうに—しかくのやうに阿 ❿給けれはかの御方—給へは此御方阿 ❿衛門督を—衛門督阿 ⓫事のおりも—ことのをりにも保—おりのことに阿 ⓫ましらはせさらむ—ましらはさらん阿 ⓬人—ナシ阿 ⓭まいらす—まいり給はす阿 ⓭そこはかと—そこはかとなく阿 ⓭あらさなるを—あらさるを阿 ⓮心の—心阿 ⓮心くるしく—くるしく阿 ⓮とりわきて—わきて阿

なき年なれはとのみ思ひわたるを大將の君そあるやうあることなるへしすきのはさためてわかけしきとりしことにはしのはぬにやありけむと思ひよれとかくさたかにのこりなきさまならむとはおもひより給はさりけり十二月になりにけり十よ日とさためてまひともならしとのゝうちゆすりてのゝしる二条の院のうへはまたわたりたまはさりけるをこのしかくによりそえしつめはてゝたり給へる女御の君もさとにおはしますこのたひのみこは又おとこにてなむおはしましけるすき〳〵いとおかしけにておはするをあけくれもてあそひたてまつり給になむすくるよはひのしるしうれしくおほされける試樂に右大臣殿のきたのかたもわたり給へり大將の君うしとらのまちにてまつうち〳〵にてうかくのやうにあけくれあそひならし給けれはかの御方はおまへの物はみたまはす門督をかゝる事のおりもましらはせさらむはいとはえなくさう〳〵しかるへきうちに人あやしとかたふきぬへきことなれはまいり給へきよしありけるをもくわつらふよし申てまいらすさるはそこはかとくるしけなるやまひにもあらさなるを思ふ心のあるにやと心くるしくおほしてとりわきて御せうそこつかはすに—申給阿 ❸かさねて—とりかさねて保 ❸のたまへれは—申給へは阿 ❸まいり給—まいり給ひぬ阿 ❸なと—ナシ阿 ❹つとひ—まいり阿 ❹けり—ナシ阿 ❹けちかきみすの…おろして—ちかきかたのみすのまへにいれてみすおろし給てうちに阿 ❺けにいといたく—いといたうけに阿 ❺やせ〳〵—なるさまにてあをみてれいのおりもほこりかに—やせ〳〵なるさまにてあをみてれいのおりもほこり阿 ❺はなやきたる—はなやかなる別 ❻しつめたる—しつかなる阿 ❼いとゝしつめて—いとゝしくしつまりて別 ❼たまふさま—給別 ❼みこたち—宮たち阿 ❽さらに—も阿 ❾いと思ひやりなき—こそいと—こそ別 ❾なと—と阿 ❾さりけなく—さりけなくもてなし阿 ❿そのことゝなく—ナシ阿 ❿いとひさしくなりにけり—ひさしくなりけり阿 ❿月ころは—月ころ別 ⓫みあつかひ—あつかひ保 ⓫いとまー—いと阿 ⓬ほうし—ほうしなと阿 ⓬給へくありし—給へかりし保—給へるめる阿 ⓬つき〳〵—とこほる—つき〳〵にさはる阿 ⓭としもせめつれはえ—としのせめくれは阿 ⓭思ひのことく—おもひのことも保—思のことく—思ひのことく—かたのことく—かたのやうに阿 ⓮御賀なといへはいてて侍る阿

ちゝおとゝもなとかかへさひまうされけるひか〳〵しきやうに院にもきこしめさむをおとろ〳〵しきやまひにもあらすたてまつりけてまいり給へとそゝのかしかくかさねてのたまへれはくるしとおもふ〳〵まいりぬまたかむたちめなともつとひ給はぬほとなりけりれいのけちかきみすの内にいれ給てもやのみすおろしておはしますけにいといたくやせ〳〵にあをみてれいもほこりかにはなやきたるかたはおとうとの君たちにはもてけたれていとようありかほにしつめたるさまそことなるをいとゝしつめてさふらひたまふさまなとかはみこたちの御かたはらにさしならへたらむにさらにとかあるましきをたゝことのさまのたれも〳〵いと思ひやりなきこそいとつみゆるしかたけれなと御めとまれとさりなくいとなつかしくそのことゝなくてたいめんもいとひさしくなりにけり月ころは色〳〵のひやうさをみあつかひ心のいとまなきほとに院の御賀のためこゝにものし給みこのほうしつかうまつり給へくありしをつき〳〵とゝこほることしけくてかくとしもせめつれはえ思ひのことくしあへてかたのことくなんいもねの御はちまいるへきを御賀なといへはこと〳〵しきやうなれと家においゝつくゝことくも横榊池陽三—こと宵 ❸かたの—かたくの宵 ❹まいるへきを—まいるへき横池 ❹おいゝつる—おもひいつる池

【河内本】❶なとか—なと大 ❶院にも—院も御七 ❸のたまへれは—のたまへは河 ❹けちかき宮 ❹いれ給て—いり給て七 ❺ほこりかに—ほこりかほに御 ❺はなやきたる—はなやかなる大 ❻かたれ—ナシ七 ❼御かたはら—御かた七 ❾思ひやりなきこそ—おもひやりなきに七 ❿月ころは—月ころのやうさを河 ❿ひやうさをみあつかひ—ひやうさをのみあつかひ七 ⓬給へくー給へて七 ⓬つき〳〵—月〳〵に七 ⓭かくー かくて宮 ⓭思ひのことくー思ひのことく河

【別本】❶なとかー なと阿 ❶院にもー院も別 ❷給

【青表紙本】❶ならはしはしめし―ならはしはしめし池横陽―ならはしはしめし池 ❷おもひめくらしかねて―おもひめくらして榊 ❹いと〳〵―いと〳〵三 ❹かほの色―かほの色も肖 ❺とみにえきこえす―とみにもえきこえす横―とみにも(え)きこえ給はす池―とみにきこえす三 ❻侍なから―はへりなから榊 ❻比をひ―ころをひ榊―ころ三 ❼おこり―をこり榊 ❽侍らす―侍らて肖三 ❽なむ―ナシ陽 ❾こもり―ナシ陽 ❿つかうまつるへき―つかふまつり給(る)へき榊 ⓫思ひをよひ―ヲモヒおよひ横 ⓫かうふり―かふり三 ⓬くるまを―くるま榊 ⓫けに―ナシ横―けに池 ⓭ことの―事榊 ⓭侍しかは―はへりしかは榊―はへしかは池 ⓭侍し―はへし榊池

【河内本】❶なりにけるを―なし―はしめ宮 ❹うらなきやう―うらなき河 ❹色―ナシ大 ❺おほえて―おほして七 ❺えきこえす―きこえす―きこえす河 ❺かた〳〵に―かた大 ❻侍なから―侍るなから國 ❻わつらひ：7おこり―ナシ大 ❼侍りて―はんへりて尾 ⓬御覧せられよ―御せられよ國 ⓬まうさるゝ―申さるゝさる七 ⓮御よそひ―御よはひ國 ⓮まちうけ―まちまうけ大

【別本】❶けるを―けるも阿 ❶まいなと：2はたさんとて―はたさむとてなむ保 ❷こと又たれにかは―ことなとをきて又たれかは阿 ❸うらみもすてゝけるー恨をすてゝけり阿 ❹いと〳〵―いと阿 ❺えきこえす：御こと―ナシ阿 ❻わつらひ―をこり阿 ❼ところせくおこり―をこりて阿 ❼侍りて―侍りてしつみて阿 ❽月ころ―月日阿 ❽しつみ侍て―ナシ阿 ❽なとにも―なとへも阿 ❽世中―世中に阿 ❾年なり―としなりとしたかきみにて保―としのきさみにて阿 ❿よし―心さしもふかきよし阿 ⓫ちしのおとゝ―ちしのおとゝも阿 ⓫おしますしてし阿 ⓫すゝみ―ナシ阿 ⓬ところ―心阿 ⓬心―心さし阿 ⓬ことの―ことと阿 ⓭まいりて―ま入阿 ⓮いとかすかなる：次頁1給はむ―すくよかにおもほしさまして今めかしき御よそひをはまちみ奉らん阿



は榊―はへしかは池 ⓭侍し―はへし榊池

【河内本】❶なりにけるを―なし―はしめ宮 ❹うらなきやう―うらなき河 ❹色―ナシ大 ❺おほえて―おほして七 ❺えきこえす―きこえす―きこえす河 ❺かた〳〵に―かた大 ❻侍なから―侍るなから國 ❻わつらひ：7おこり―ナシ大 ❼侍りて―はんへりて尾 ⓬御覧せられよ―御せられよ國 ⓬まうさるゝ―申さるゝさる七 ⓮御よそひ―御よはひ國 ⓮まちうけ―まちまうけ大

【別本】❶けるを―けるも阿 ❶まいなと：2はたさんとて―はたさむとてなむ保 ❷こと又たれにかは―ことなとをきて又たれかは阿 ❸うらみもすてゝけるー恨をすてゝけり阿 ❹いと〳〵―いと阿 ❺えきこえす：御こと―ナシ阿 ❻わつらひ―をこり阿 ❼ところせくおこり―をこりて阿 ❼侍りて―侍りてしつみて阿 ❽月ころ―月日阿 ❽しつみ侍て―ナシ阿 ❾年なり―としなりとしたかきみにて保―としのきさみにて阿 ❿よし―心さしもふかきよし阿 ⓫ちしのおとゝ―ちしのおとゝも阿 ⓫おしますしてし阿 ⓫すゝみ―ナシ阿 ⓬ところ―心阿 ⓬心―心さし阿 ⓬ことの―ことと阿 ⓭まいりて―ま入阿 ⓮いとかすかなる：次頁1給はむ―すくよかにおもほしさまして今めかしき御よそひをはまちみ奉らん阿



【青表紙本】❶侍しを―はへしを横榊 ❷なん―ナシ陽 ❹ことそきたる―ことそきたる肖 ❺おほやけかた―おほやけ事(かた)榊 ❻かうやうに―かやうになさけひたるかたはやう〳〵―おとなふめれとかやうに横―かやうに榊陽―かうやうに池 ❼なにことも―なに事にも横 ❼おさ〳〵―たゝ榊 ❽うちにも―うちに榊 ❽しりとゝのへ―とゝのへ陽 ❾きこしめし―おほしめし三 ❿たゝ―たゝ榊 ⓬いと―ナシ横池―いと肖 ⓬のたまひつくる―のたまひつゝくる三 ⓬くるしく―くるしう榊 ⓭おもへは―おもへは池 ⓮こまやかにも―こまかにも横池

【河内本】❶給はむこと―給はむ事に七 ❷給はむん―給はむ人―人七宮―女三のみや國 ❸女二の宮―女三の宮―女二の宮―女三のみや國 ❹世こしめしさまさん七 ❹事―ナシ大 ❺なむ―ナシ大 ❻侍へき―侍へきと申給阿 ❻御方まひつくるを―のたまひつゝくるを河 ❼御心―御心阿 ❼ことは―事阿 ❽うちにも―うちに別 ❽しりとゝのへ―思すて給へるやうなれ―思すて給へるやうなれと阿 ❾おほしすてたるしめやかに保 ❾事―ことは阿 ❿大將ともろともに―大將もろ心に保 ⓫心はへ―心しらひ別 ⓫よく―ナシ阿 ⓫こと―かた別 ⓭この御まへをとくたちなむとおもへは―とく御まへを立給なんとし給へれは阿 ⓮こまやかにもあらて―こまやかならて阿 ⓮大將―れいの大將君阿

まつり給はむことねかはしくもおほすましくみたてまつり侍しをことゝもをはそかせ給てしつかなる御物かたりのふかき御ねかひかなはせ給はむて侍へきと申給へはいかめしくきゝし御賀のことを女二の宮の御方さまにはいひなさぬもらうありとおほすたゝかくなんことそきたるさまに世人はあさくみるへきをさはいへと心えてものせらるゝにされはよとゝなむいとゝおもひならひ侍大將はおほやけかたはやう〳〵をとなふめれとかやうにはもとよりしまぬにやあらむかの院なにことも心をよひ給はぬことはおさ〳〵なきうちにもかくのかたのことは御心とゝめていとかしこくしりとゝのへ給へるをさこそおほしすてたるやうなれしつかにきこしめしすまさむ事いましもなむ心つかひせらるへきかの大將ともろともにみいれてまひのわらはへのやうな心はへよくゝはへ給へものゝしなといふ物はたゝわかたてたることくちおしき物なりなといとなつかしくのたまひつくるをうれしきものからくるしくつゝましくてことすくなにてこの御まへをとくたちなむとおもへはれいのやうにこまやかにもあらてやう〳〵すへりいてぬひむかしのおとゝにて大將

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

【青表紙本】❶つくろひいたし―つくろひひたし池 ❶さうそく―しや（さ）うそく榊 ❸ひなれと御方〳〵―ひなれは御方〳〵も三 ❹みたまはむに―み給はんに（も）池 ❹しらつるはみ―しろつるはみ榊 ❺したかさねをきるへし―したかさね陽 ❺あをいろに―あを色にて三 ❺すわうかさね―すわうかさねて横池 ❻しらかさねを―しらかさね榊 ❼かく所にして横榊池陽宵三 ❼御前―御まへ横池 ❽たゝ―ナシ陽 ❾みす―す三 ❿けちかきほとに―けちかきやうに陽 ⓫大との〻―大との〻の朱 大 ⓫四らう君大将殿の―四らうきみ君ゐへし横 ⓬兵丁卿のみや―兵丁卿君榊 ⓬ふたりは―ふたり榊 ⓭いへ―いへ（朱）大 ⓮おかしけに―おかしけに池 ⓮又―又榊 ⓮御子のないしのすけはら―御ないしのすけはら榊―御ないし〳〵けはら池―御ないしのすけはら陽宵三

【河内本】❸ひなれと―ひなれは鳳 ❹みところなく―みところ大 ❻つゝきたる―つきたる大 ❼かく所にて―かくそにして河 ⓫御あるし―あるし大 ⓫四らう君―四郎の君大 ⓬大将殿の―大将殿鳳 ⓮おかしけにて鳳

【別本】❶まひ人―ナシ阿 ❶さうそくなとのこと保―さうそくなと阿 ❷つくし給へ〳〵―ナシ阿 ❷かきり―かきりを阿 ❷心しらひ―るにいとゝし給へるにそかた〳〵阿 ❸給める―給ける ❸みちの阿 ❸給めるの物みたまはむに―御かた〳〵の物みたまはむに―あらしとてあらしとてまひのわらはへ阿 ❹御方〳〵―物みたまはむに―御方〳〵物みたまはむに ❹あらせしとて―あらせしとてまひのわらはへ阿 ❺したかさねを―下かさねを―したかさねを―したかさね阿 ❻しらかさね阿 ❼らう―郎阿 ❼かく所にて―かく所にして別 ❼そは―きは阿 ❼ほと―ほと程阿 ❼ほと―ほと程阿 ❼仙遊霞―いうせんか保―ちかう阿 ❽ちかく―ちかき別 ❽ほゝゑみたり―ほゝゑみたる阿 ❽いさゝか―すこし阿 ❾式部卿のみや―式部卿御子左のおとゝ大将のきんたちはかりうちには阿 ❿それよりしもの―ナシ阿 ❿すこ―すそこ阿 ⓫なと―なとの事も阿 ⓫つかうまつり―まつり入阿 ⓫右の大とのゝ四らう君―右のおとゝの三郎阿 ⓬三らう君―四郎阿 ⓬そむわうの君たちふたりは―そんわうの君二人阿 ⓭いとゝ―ナシ阿 ⓭らうたけ也―らうたけなる保 ⓭いつれともなく―いつれともなく阿 ⓭ここにて―こともにて阿 ⓮おかしけに―おかしけにて阿 ⓮思ひなしも―思なしに阿 ⓮御子の―御こ別 ⓮なしのすけはら―内侍すけはら阿



のつくろひいたし給かく人まひ人のさうそくのことなとまた〳〵をこなひくへ給あるへきかきりいみしくつくし給へるにいとゝくはしき心しらひそふもけにこのみちはいとふかき人にそものし給めるけふはかゝるこゝろみのひなれと御方〳〵物みたまはむにみところなくはあらせしとてかの御賀のひはあかきしらつるはみにえひそめのしたかさねをきるへしけふはあをいろにすわうかさねかく人三十人けふはしらかさねをきたるたつみのかたのつりとのにつゝきたるらうをかく所にて山のみなみのそはより御前にいつるほと仙遊霞といふものあるそひて雪のたゝいさゝかちるに春のとなりちかくむめのけしきみるかひありてほゝゑみたりひさしのみすのうちにおはしませは式部卿のみや右のおとゝはかりさふらひたまひてそれよりしものかむたちめはすのこにわさとならぬひの事にて御あるしなとけちかきほとにつかうまつりなしたり右の大とのゝ四らう君大将殿の三らう君兵丁卿のみやのそむわうの君たちふたりは万歳楽またいとうつくしき御むまこひさきほとにていとらうたけ也四人なからいつれとなくたかきいへのこにてかたちおかしけにかしつきいてたる思ひなしもやむことなし又大将の御子のない



しのすけはらの二らう君式丁卿の宮の兵衛督といひしいまは源中納言の御こわう上右のおほねとのゝ三らう君れうわう大将殿のたらうらくそむさては太平楽喜春楽なといふまひともをなんおなし御なからひの君たちおとなたちなとまひけるくれゆけはみすあけさせ給てものゝけうまさるにいとうつくしき御むまこの君たちのかたちすかたにてまひのさまも世にみえぬ手をつくしておほむもゝをの〳〵てのかきりをゝしへきこえけるにふかきかと〳〵しさをくはへてめつらかにまひ給をいつれをもいとらうたしとおほすおい給へるかむたちはみな涙おとし給式部卿の宮も御まこをおほして御はなの色つくまてしれ給あるしの院すくるよはひにそへてはゑひなきこそとゝめかたきわさなりけれ衛門督心とゝめてほゝゑまるゝいと心はつかしやさりともいましはしならんさかさまにゆかぬとし月よおいはえのかれぬわさ也とてうちみやり給に人よりけにまめたちくんしてまことに心もいとなやましけれはいみしきこともとまらぬ心ちする人をしもさしわきてそらゑひをしつゝかくのたまふたはのやうなれといとゝむねつふれてさかつきのめくりくるもかしらいたくおほゆ

【河内本】❷右のおほねとのゝ―右おほいとのゝ鳳 ❷大将殿の―大将の河 ❸御なからひ―なからひ七 ❹御むまこ―御まこ御宮尾平大鳳國 ❺まひさま―まひのさま―かんたちめは平國 ❻かむたちめたちは―かんたちめは平國 ❽しほれ―しほれ河 ❿衛門督―ゑもんかみ國 ⓬とまらぬ―とゝまらぬ大

【別本】❶二らう君―四郎君阿 ❶兵衛督―太郎君阿 ❶源中納言の御こ―源中納言とその御子阿 ❷大将殿のたらう―大とのゝ三郎阿 ❸喜春楽―まんさいらく阿 ❸君たち―おとなたち―おとなきんたちなたちなと保―ナシ阿 ❸おとなきんたちなと保―ナシ阿 ❸まひける―まひ給けり阿 ❹くれゆけは―日くるれは阿 ❹あけさせ―まきあけさせ阿 ❺すかたにて―すかたにて―ナシ阿 ❺おほむ師とも…6きこえける―きこゑたりける保 ❼いつれをも―いつれも阿 ❼給へる―たる阿 ❽みな―ナシ阿 ❽御まこ―御むまこのけしき阿 ❾あるしの院―あるし院阿 ❾そへては―ゑひなきこそ―そへてゑひなきにこそ阿 ❿わさなりけれ―物は有けれ阿 ❿心とゝめて―めととめて別 ⓫ならん―なん阿 ⓫としつゝ月よおいは―年月をは阿 ⓫うちみやり給に―みやり給ふ阿 ⓬まことに―ナシ阿 ⓬なやましけれは…13しつゝ―なやましき人をもしらすそらゑひをしてきしつゝわきて阿 ⓭とまらぬ―とゝまらぬ保 ⓭しつゝして保 ⓮やうなれといとゝむねつふれて―やうなれともむねつふれけれはきゝしらぬやうにてあるを阿 ⓮めくりくるも―めくりきたるもことに阿 ⓮おほゆれは―おもほえけれは阿

【青表紙本】❶しゐ給へははしたなくて—しゐ給へはゝ朱(は朱)したなくて大 ❸給ぬる—給ぬる横池 ❸いたく—いたう横榊池 ❹いと—ナシ横池 ❹かゝるならむ—かゝるなん(ら)ん横 ❹物を—ものを榊 ❺のほりぬる—の(朱)ほりぬる大 ❼いと—いとゝ横 ❾また—はた宵—ナシ三 ❾すくすへき日は—すくすへき日は陽—すくすへき比は宵—すくへき日ころは榊—すくけかん榊 ⓫かたしけなき—かたしけなき大 ⓬いとゝいみしくなけき—いみしくなけき三 ⓭御なからひ—御なからひ榊

【河内本】❷人に—人にも御七 ❸まかて—まかせ御 ❺氣のほりぬる—けのほりぬる御 ❺ある七 ❻思ひしらる—おもひしらるゝ御 ❻ありける—ありけるゝ御 ❻のし—しはし御 ❼おとゝ—ちゝおとゝ河 ❼はゝ—ナシ七 ❾また—ナシ河 ❾すくすへき月日は七大鳳 ⓫おもふは—思へは河 ⓮たひらかに—たいらかにも宮

【別本】❶まきらはす—まきらはし給ふ阿 なからたひ〳〵しゐ給へは—たひ〳〵もたせなからしゐそし給へれは阿 ❷はしたなくて…3まゝに—はしたなくておもほえてもてわつらひ給まゝに阿 にかきみたれくるしければまかて給まゝに阿 ❸をとろかしき保—をとろかしき—ナシ阿 ❹おとろ〳〵しき—をとろ〳〵しき—たひ〳〵もたせなからたひ〳〵しゐ給へ—ナシ阿 ❺のほりぬる—あかりける阿 ❺はかり—はかりにふと阿 ❻身つから思ひしらる—身なからも思しらるゝ阿 ❼やかていと—ナシ阿 ❼おとゝはゝ北の方—北方阿 ❽よそ〳〵にて—よそにては阿 ❾また—ナシ阿 ❾ことなくて—ことなく保 ❾すくすへき比—すくる月日保—すくし給へき人阿 ❾心のとかにあいなたのみして—あひなたのめして阿 ❿いまはとわかれたてまつるへき—今はとてわかれ給へき阿 ⓫かとて—ナシ保 ⓫おもふは—おもへは阿 ⓫をくれて—ナシ阿 ⓫こと〳〵—こと阿 ⓬いみしく—宮す所もいといみしく阿 ⓬思ふ—おほす別 ⓬はゝみやす所もいといみしく保 ⓬給て—給阿 ⓬世のことゝして—よのことゝして阿 ⓭おやをは阿—なをおやをは阿 ⓭をきたてまつりて—をきたて給へりて阿 ⓭御なからひは—なからひの阿 ⓭とあるおりも—とあるおりも—とある(を)り保—とあり阿 ⓭かゝるおりも—かゝるおりにも阿 ⓮たまはぬ—たまはぬこと—さま別 ⓮ひきわかれて—ひきわかれ給て阿 ⓮ものしたまふ…次頁1ことを—物し給をまちすくひ給はん心つくしなるを阿





したまふまてもすくし給はむか心つくしなるへきことをしはしこゝにてかくてこゝろみたまへと御かたはらに御きちやうはかりをへたてゝみたてまつり給こととはりやかすならぬ身にてをよひかたき御なからひになましひにゆるされてまつりてさふらふしるしにはなかく世に侍りてかひなき身のほともすこしひとゝひとしくなるけちめをもや御覧せらるゝとこそおもふ給つれいといみしくかくさへなり侍へれはふかき心さしをたに御覧しはてられすやなり侍りなとおもふたまふるになんとまりかたき心地にもえゆきやるましく思給へらるゝなとかたみになき給ひてとみにもえわたり給はねは又はゝきたのかたうしろおほしてなとかまつみえむとはおもひたまふましきわれは心ちもすこしらす心ほそき時はあまたの中にまつとりわきてゆかしくもたのもしくもこそおほえ給へかくいとおほつかなきことゝうらみきこえ給も又いとことはりなりよりさきなりけるけちめにやとりわきておもひならひたるをいまになをかくし給ひてしはしもみえぬをはくるしき物にし給へは心ちのかくかきりにおほゆるおりしもみえたてまつらさらむつみふかくいふせかるへしいまはとたのみ

【青表紙本】❶なるへき—なるつ(へ)き榊 ❷御きちやうはかりを…3なましひに—ナシ池 ❷はかりを—はかり横榊 ❷ことはりや—ことはりやと宵 ❸御なからひ—御なからひ榊 ❹ひとゝひとしくなる—人〳〵しくなる三 ❺けちめをもや—けちめもや三 ❺おもふ給つれ—思給えつれ横—おもふ給えれ榊—おもふ給えつれ池陽宵—思給つれ三 ❺かくさへなり—かくさへ横池 ❻侍へれは—侍りつれは陽 ❻はてられす—い(は)てられす榊 ❻おもふたまふるに—思給ふるに三 ❼えゆきやるましく—えゆきやるましく榊 ❾おもひたまふましき—思ふ給ましき榊 ❾れいならす—れい(朱)ならす大 ❿中に—なかに榊三

【河内本】❶こゝにてかくて—かくてこゝにて河 ❸御なからひ—御なからひ大 ❹侍りて—はゝりてはひなき大 ❺けちめをもや—けちめもや宮つれ河 ❻なり侍りなむ—なり侍らん河 ❽給はぬは御—給はぬは—心にも國 ❾心もかきり七 ⓫かくいと—かく横池 ⓫いとことはりなり—いとことはりなり榊—いとことはりなり池—ことわり也陽 ⓫人より—人よりは横 ⓬とりわきて—とりわき大 ⓭かきりに—かきり七

【別本】❶しはし—しはしは別 ❶こゝにて—こゝにてかくてこゝろみたまへと—よくて心保 ❷はかりを—はかり阿 ❷こ



とはりや—ことはりにや阿 ❸身にてをよひかたき—身にをよひなき阿 ❹さふらふしるしには—なかく世に侍りて—ナシ阿 ❹ほとも—ほとをも阿 ❺けちめをもや—けしめもや阿 ❺おもふ給つれ—おもふ給へつれ保—思給へ阿 ❺いと—ナシ阿 ❻なり侍へれは—なりはへりなは保—侍て阿 ❻御覧し…7心地にも—御らんせられすやなりなんとゝまりかたきみちを阿 ❼思給へらるゝなと—おもほえ給侍し阿 ❽えわたり給はねは—わたり給はす阿 ❽はゝきたのかたうしろめたく—はゝ北方のうらめしく阿 ❾みえむとは—みえんと阿 ❿心ほそき時は—物心ほそきおりには阿 ❿ゆかしくも—ゆかしく阿 ⓫こと…ことはりなり—わたり給はぬ事とうらみ給へはこれもことはりなれは阿 ⓬さきなりける—さきなる別 ⓬かなしく—いとかなしく保—わかへ〳〵しく阿 ⓭し給ひて—おほしまとはしたり阿 ⓭みえぬをは—みぬをは保—みぬは阿 ⓭物—事阿 ⓭かく—ナシ阿 ⓮たてまつらさらむ—奉らさらんは阿

【青表紙本】❶きかせ給はゝ—きかせ給はは榊 ❷こと—こと横榊池陽宵三 ❹のみ—ナシ榊 ❹おもひ侍ける—思侍りける池 ❺おほしこかれたり—おほしみたれたり池 ❺さるは—さるははた池 ❻御心地—心地池 ❻さまにも—さまにも榊 ❻ものなとを—ものなと横池三 ❸やうに—やうにそ横榊池陽宵三 ❸さる—さる池 ❿おほしめしたるにも—おほしめしたるにも横—おほしめしたるも榊 ⓫おほし—補入池 ⓫御とふらひに—御とふらひ榊陽宵 ⓭いみしく—ナシ池 ⓮御賀は—御賀は池 ⓮あまたの人〻さるたかき御なからひの—ナシ三

【河内本】❷こと—事河 ❺おもひ侍ける—思侍る七 ❺大殿—おほいとの河 ❼やう〳〵—たゝやう〳〵河 ❽おほしめしたる—おほしたる河 ⓭御賀は—御賀河 ⓮はらから—はらからの大

【別本】❶きかせ給はゝ—きこしめさは阿 ❷をろかに—をろかなるさまに阿 ❸しらすて阿—しらすて阿 ❸なかく—近く阿 ❹とまり給て—とまりて阿 ❺よろつに—またよろつに阿 ❺たちまちに—いたくいま阿 ❻なとをさらに—いたくた物なとに阿 ❼けるに—けるか阿 ❼かうしなとを—ふれたまはす—ふれはゝす保 ❼たゝ—や阿 ❽やうに—やうにそ保 ❽いうそくのかく—いうそくに阿 ❽世中—世の中に阿 ❾御とふらひし—御つかひたひ〳〵阿 ❿きこえつゝ—たまひつゝ保 ⓫給て阿 ⓫御とふらひに—御とふらひ別 ⓭給つゝ—給て阿 ⓭いみしく—ナシ阿 ⓭御賀は廿五日に—御賀も四五日に阿 ⓮おもく—いとをもく保 ⓮はらから—はらからの阿

なくきかせ給はゝいとしのひてわたり給ひて御覧せよかならす又たいめんたまはらむあやしくたゆくをろかなる本上にてことにふれてをろかにおほさるゝこともありつらむこそくやしく侍れかゝるいのちのほとをしらてゆくすゑなかくのみおもひ侍ることゝなく〳〵わたりたまひぬ宮はとまり給ていふかたなくおほしこかれたり大殿にまちうけきこえ給てよろつにさはき給さるはたちまちにおとろおとろしき御心ちのさまにもあらす月ころものなとをさらにまいらさりけるにいとゝはかなきかうしなとをたにふれたまはすたゝやう〳〵ものにひきいるゝやうにみえ給さる時のいうそくのかく物したまへは世中おしみあたらしかりて御とふらひにまいり給はぬ人なし内よりも院よりも御とふらひしはし〳〵きこえつゝいみしくおしみおほしめしたるにもいとゝしきおやたちの御心のみまとふ六条院にもいとくちおしきわさなりとおほしおとろきて御とふらひにたひ〳〵ねんころにちゝおとゝにもきこえ給大将はましていとよき御中なれはけちかくものし給つゝいみしくなけきありき給御賀は廿五日になりにけりかゝる時のやむことなきかむたちめのおもくわつらひたまふにおやはらからあまたの人〻さるたかき御なからひのなけきしほれ給へるころをひにてものすさましきやうなれとつき〳〵にとゝこほりつる事たにあるをさてやむましき事なれはいかてかはおほしとゝまらむ女宮の御心の内をそいとおしく思ひきこえさせ給れいの五十寺の御す經又かのおはします御てらにもまかひるさなの

【青表紙本】❶御なからひの—御なからひの池 ❶なけき—なき三 ❸いかてかは—いかてか横池 ❸女宮—女の宮陽—姫君宵 ❸内—中池

【河内本】❹さるたかき—さりかたき大 ❸いかてかは—いかてか御七宮尾平鳳國—いかて大 ❸女宮—ひめ宮河 ❹御てら—てら河

【別本】❶御なからひ阿—なからひ阿 ❶しほれ—ほれ阿 ❶にて—なれは阿 ❷事なれは—事なりとて阿 ❸いかてかは—いかてか阿 ❸とゝまらむ—とまらむ保—とまらんと阿 ❸女宮—ひめ宮別 ❸いとおしく—いとをしと保 ❹給—給ける阿

わかな下